

障害者支援センター事業実施報告

1 総合相談支援

- (1) 一般相談の利用実人数は351人、相談件数は5,683件で、昨年度と比較し利用人数では36人減少したものの、相談件数は1,407件増加しています。新型コロナウイルス感染症の影響で、訪問や来所等対面での相談は減少していますが、電話相談は大幅に増加しています。また、個別支援会議も減少していますが、反面、関係機関からの相談は増加しています。これは新型コロナウイルス感染症の影響によるものと合わせて、関係機関との連携がより一層進んでいる結果と考えます。前年度と同様、相談内容の多様化、複雑化により、障害者支援センターだけでは解決が困難な課題や市内の社会資源だけでは対応できない課題が増えてきており、支援者側のより一層のスキルアップと関係機関の連携が求められています。
- (2) 電話による24時間相談を行っています。休日夜間の利用件数は290件でした。相談内容は、精神障害のある方の不安解消、情緒安定を求めるものがほとんどです。

相談支援事業の実施状況

相談支援を利用した人数(※実人員)

種別	人数	身体障害	重症 心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者 (昨年実績)	326 (369)	63 (65)	- -	80 (92)	148 (177)	11 (6)	8 (7)	16 (22)
障害児 (昨年実績)	25 (18)	4 (1)	1 (0)	9 (9)	3 (0)	6 (6)	- (0)	2 (2)
計 (昨年実績)	351 (387)	67 (66)	1 (0)	89 (101)	151 (177)	17 (12)	8 (7)	18 (24)

相談受理(対応)状況(件数)

種別	関係機関	電話等 相談	訪問	来所相談	同行	個別支援 会議	その他	合計
件数	2,191	2,049	764	268	154	136	121	5,683
割合	38.6%	36.1%	13.4%	4.7%	2.7%	2.4%	2.1%	
(昨年実績)	(1,592) (37.3%)	(1,318) (30.8%)	(783) (18.3%)	(300) (7.0%)	(125) (2.9%)	(155) (3.6%)	(3) (0.1%)	(4,276)
うち休日夜間	40	213	19	2	2	1	13	290
(昨年実績)	(18)	(81)	(5)	(0)	(0)	(1)	(0)	(105)

支援内容(件数)

種別	福祉サービスの利用等に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	健康・医療に関する支援	家族関係・人間関係に関する支援	就労に関する支援	障害や病状の理解に関する支援	生活技術に関する支援	家計・経済に関する支援	権利擁護に関する支援
件数	2,476	1,253	866	810	710	678	418	267	88
割合	32.0%	16.2%	11.2%	10.5%	9.2%	8.8%	5.4%	3.4%	1.1%
(昨年実績)	(1,662) (35.1%)	(756) (16.0%)	(441) (9.3%)	(466) (9.8%)	(366) (7.7%)	(413) (8.7%)	(205) (4.3%)	(188) (4.0%)	(121) (2.6%)

種別	社会参加・余暇活動に関する支援	保育・教育に関する支援	その他	合計
件数	79	32	59	7,736
割合	1.0%	0.4%	0.8%	
(昨年実績)	(96) (2.0%)	(18) (0.4%)	(7) (0.1%)	(4,739)

個別支援会議開催・出席状況

136回

(昨年実績

155回)

- (3) 指定特定相談支援事業者としては、110人、うち児童10人の計画相談支援(障害福祉サービス等利用計画の作成)を行いました。

サービス利用計画作成状況

契約人数

(2021年3月31日現在)

項目	身体障害	知的障害	精神障害	その他	児童	計
契約人数	22人	32人	45人	1人	10人	110人
(昨年同月)	(24人)	(30人)	(37人)	(1人)	(10人)	(102人)

計画作成・モニタリング実施状況(年間件数)

項目	障 害 者					障害児	合計
	身体障害	知的障害	精神障害	その他	計		
計画作成	23	38	45	1	107	9	116
(昨年実績)	(26)	(35)	(50)	(3)	(114)	(10)	(124)
モニタリング	85	112	162	4	363	13	376
(昨年実績)	(68)	(92)	(114)	(2)	(276)	(20)	(296)

- (4) ピア・サポートグループやまなみは毎月定例会を開催し、毎回5名程度の参加があります。メンバー同士の交流やピア・サポートの啓発活動を行っています。新型コロナウイルス感染症対策として、リモートによる参加もありました。

事業名	実施日	会場	参加者数	内容
ピア・サポートグループ やまなみ定例会	6月20日	活動交流室	4人	年間活動計画について
	7月11日		4人	今年度の活動について
	8月8日		4人	YouTube撮影、やまなみカフェ
	9月12日		5人	やまなみ通信、YouTube撮影について
	10月10日		5人	YouTube撮影について (内リモート参加1名)
	11月14日		6人	ガイドライン作りについて (内リモート参加1名)
	12月12日		6人	感染予防についての勉強会 (内リモート参加2名)
	1月9日		3人	勉強会の反省、次年度活動計画について (内リモート参加1名)
	2月13日		9人	今年度の反省と次年度の活動計画について、やまなみ通信の発行について (内リモート参加3名)
	3月13日		6人	やまなみ通信の発行について、次年度の活動計画について (内リモート参加2名)

(5) 隔年で開催しているピア・サポータースキルアップ研修は、延べ 19 人の参加がありました
が、ピア・カウンセリングの実績には結びつきませんでした。カウンセリングに限らず様々な形
でピア・サポートが出来る場をつくっていく必要があります。

事業名	実施日	会場	参加者数	内容
ピア・サポータースキル アップ研修	7月16日	ボランティア室	8人	ピアサポートとピアカウンセリング の違いについて
	7月30日	活動交流室	3人	ピアカウンセリングの手法について
	8月8日		4人	ストレングス、リフレーミング (リモート参加1名)
	9月3日		4人	WRAP(元気回復行動計画)

(6) 「聴こえに困っている方の相談会」を毎月第2土曜日に開催し、障害者手帳の取得や不安
解消等について 8 件の相談を受けました。

「知的障害者(児)相談会」は、毎月第3日曜日に開催し、不登校などの学校問題、結婚、福
祉サービスの利用、親の会、医療等について 55 件の相談(電話相談を含む)を受けました。

相談会の実施状況

事業名	開催日	会場	相談件数	相談内容
「きこえ」に困っている 人の相談会	毎月第2土曜日	福祉保健センター 相談室	8 件	障害者手帳の申請、不安解消など
知的障害者(児) 相談会	毎月第3日曜日		55 件	学校の問題、不登校、結婚、福祉 サービス、親の会、医療についてな ど

※「身障なんでも相談会」は今年度から中止

- (7) 手話通訳者設置事業は、引き続き市役所社会福祉課窓口職員を派遣し、月曜日から金曜日まで実施しています。障害福祉サービスの手続き、会議通訳等で、6人の方へ、延べ48件の通訳を行いました。

手話通訳者設置事業の実施状況（※社会福祉課への派遣職員）

実人数	延べ件数	主な内容
6人	48件	窓口業務、訪問、各種会議・打合せ会議、健康診断など
(8人)	(38件)	昨年度実績

2 専門機関との連携

- (1) 障害者支援センター連絡会議を社会福祉課、健康推進課、子育て支援課、教育委員会学校教育課、こども発達支援センターの参加により、毎月第2・4月曜日に定期的で開催し、障害者施策の連携や個別の支援ケースの情報共有を図りました。
- (2) 三次市障害者支援協議会及び三次市障害者計画策定審議会に出席し、事業計画や事業実施状況について報告や課題提起を行いました。

障害者支援協議会(関係)会議開催状況

開催日	会議名	主な内容
7月30日 (木)	第1回三次市障害者支援協議会 (全体会議) 第1回三次市障害者計画策定審議会	1. 報告・協議事項 (1)各種相談件数について (2)障害者優先調達法の取組み状況 (3)障害者及び障害福祉サービスの現状について (4)障害者支援センター事業について (5)障害者支援ネットワーク各部会の活動について 2. 第1回三次市障害者計画策定審議会 (1)計画の策定について(アンケート調査)
11月16日 (月)	第2回三次市障害者計画策定審議会	1. 協議事項 (1)アンケート調査の結果について (2)計画の骨子(案)について
1月8日 (金)	第3回三次市障害者計画策定審議会	1. 協議事項 (1)三次市障害者計画(案)について
2月15日 (月)	第2回三次市障害者支援協議会 (全体会議) 第4回三次市障害者計画策定審議会	1. 報告・協議事項 (1)地域生活支援拠点等の整備について (2)障害者支援センター事業について (3)障害者支援ネットワーク各部会の活動について (4)医療的ケア児支援部会の設置について 2. 第3回三次市障害者計画策定審議会 (1)パブリック・コメントの結果について (2)三次市障害者計画(案)について

- (3) 三次市障害者支援協議会ネットワーク連絡会議の事務局として、「相談支援」「就労支援」「地域生活支援」「療育・発達支援」「差別解消支援」の5部会の運営と活動の推進を図りました。

相談支援部会

複合的な支援が必要なケースについて、各事業所から事例の提供を受け、検討会を5回行いました。また、危機管理課との意見交換会を行い、今後相談支援専門員が担うべき役割について検討しました。毎年実施していた他部会との合同研修会は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでした。今後は、オンラインによる部会や研修会が行える体制整備が必要です。

開催日	主 な 内 容
6月11日	年間活動報告の確認と今年度活動計画について
7月7日	事例検討
8月20日	事例検討
9月30日	避難行動要支援者支援について危機管理課との意見交換
10月28日	事例検討
11月17日	災害時避難行動要支援者名簿・居宅介護について
12月15日	地域生活支援拠点・居宅介護について
1月26日	中間報告まとめ、事例検討
2月16日	事例検討、障害者支援協議会の報告
3月16日	地域生活支援拠点整備事業について、来年度の計画について

地域生活支援部会

障害児の夏休みのプール支援は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止しましたが、この一年間を通じ、市内のヘルパー事業所に対する実態調査実施に向けた協議を重ねました。この調査結果をもとに、在宅障害者の生活支援の現状把握、将来の三次市の支援体制に予測される課題分析などを行いたいと考えています。

介護保険や市独自事業など、ヘルパーの支援対象は年々拡大している一方で、一部の重度障害者は、前年度に引き続き市外事業所のヘルパー派遣に頼らざるを得ない状況が続いています。今後、在宅生活を望まれる重度障害者は増えてくると考えられます。ボランティアの活用も視野に入れ、市としての体制整備が必要です。

開催日	主 な 内 容
6月16日	年間活動報告の確認と活動内容について
8月25日	支援協議会の内容について(報告)、事業所の実態調査と評価方法について(協議)
9月23日	事業所の実態調査と評価方法について
10月28日	事業所の実態調査と評価方法について
2月3日	事業所の実態調査と評価方法について、協議会報告内容について、日中サービス支援型グループホームの評価について
3月10日	居宅介護について、事業所の実態調査と評価方法について、協議会について

就労支援部会

毎週水曜日に市役所で「水toショップ(スイートショップ)」を継続しています。また、より多くの人に就労支援事業所を知ってもらおうと、ピオネットへ事業所紹介番組の作成依頼し、放送してもらう予定としていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で取材に行けなくなったこと、事業所自体の仕事量が減少したことから中断となりました。

また、新型コロナウイルス感染症が及ぼした仕事への影響について、事業所間で共有することができ、緊急事態宣言期間中など行動自粛時の就労や在宅での支援の在り方、事業所の収入減が直接障害者の工賃に影響することから、行政などからの補填の必要性について協議しました。

開催日	主 な 内 容
6月12日	年間活動報告の確認と三次市の障害福祉サービスの周知について
12月7日	ピオネット利用した事業所紹介・2020年度事業中間報告について
2月5日	2020年度活動報告の確認、大竹市社協の取組の紹介、コロナ禍の事業所での対応と作業状況の共有

療育・発達支援部会

新型コロナウイルス感染症の影響で、毎年開催していた行事は全て中止しました。広島県と塩野義製薬、広島県発達障害者支援センターの共催で、ペアレントトレーニング実施者養成研修を開催し、保護者支援の手法を学ぶことができました。

来年度は、この研修の成果として、部会独自でペアレントトレーニングを実施していく予定です。あわせて、他部会との合同研修や教育機関、医療機関との連携をより一層強化し、乳幼児期から成人期まで、切れ目のない支援体制を構築する必要があります。

開催日	主 な 内 容
6月15日	年間活動報告の確認と今年度活動計画、各行事の開催について
7月27日	事例検討、サポートファイル学習会について、ペアレントトレーニングについて
9月14日	事例検討、ペアレントトレーニングについて
11月16日	事例検討、ペアレント・トレーニングについて、来年度の活動計画について
1月18日	中間報告まとめ、事例検討、来年度の取組について
2月22日	来年度の活動について
10月4日～ 11月8日	ペアレントトレーニング実施者養成研修 (毎週日曜日 計6回開催)

差別解消支援部会

昨年度、三次商工会議所、三次広域商工会の協力を得て、合理的配慮が市内の事業所(店舗)等にどのように浸透しているかの実態把握を目的としたアンケート調査の結果

を、広報みよしに掲載し、全市民へ周知しました。また、この結果の分析に基づき、合理的配慮が広まるには、当事者・家族・支援者が中心となって、出前講座などで、こちらから積極的にしかけていくことが確認されたことから、次年度からは、教育現場へは三次市社会福祉協議会が、企業等については三次市障害者支援センターが事務局的役割を担うことになりました。

開催日	主 な 内 容
6月25日	年間活動報告の確認と事業所アンケート結果の報告
9月18日	合理的配慮アンケート調査結果についてグループワーク
11月27日	1月広報に掲載する記事の確認、次年度の活動内容について
1月27日	中間報告まとめ、来年度の啓発活動について

- (4) 備北障害者就業・生活支援センターが行う「障害者就業・生活支援連絡会」に参加し、ハローワーク、三次病院、特別支援学校等関係機関と連携しています。
- (5) 障害者虐待通報は新規に4件あり、虐待として2件認定し対応しました。継続事案は4件中3件が終了しました。終結理由は、保佐人の選任によるもの1件、虐待者の死亡によるもの2件でした。昨年度同様、家庭内全体が複雑な課題を抱えた世帯での虐待ほとんどで、引き続き、行政、警察、民生委員、その他関係機関等との連携した対応が、より一層求められています。

3 社会資源を活用するための支援

- (1) 精神障害者ボランティアスキルアップ講座を三次病院と共催で3月開催し、受講者は7名でした。また、ボランティア養成講座の修了者28人に、毎月、三次市障害者支援センターのソーシャル・サロン等の行事を案内し、ボランティアとして延べ10人の参加がありました。
- (2) 園芸福祉ネットワークの活動は、市内4つのブロックで自主的に行っています。全体としての活動は、新型コロナウイルス感染症の影響により、福祉保健センターの花壇の定期的な手入れ2回にとどまりました。

ボランティアの活用と育成に関する支援状況

支援対象グループ等	実施日	会場	参加者数	主な支援内容
精神障害者ボランティアスキルアップ講座	3月24日(水)	研修室	7人	傾聴について
精神障害者ボランティア	サロン(火曜日) ソーシャル(金曜日)	三次市福祉保健センターほか	10人	サロンやソーシャル活動のサポート
一般ボランティア	3月25日(木)	生涯学習センター	2人	みんなの食堂プレオープンサポート
「みよし園芸福祉ネットワーク」花壇、施設等整備作業	10月18日(日) 11月15日(日)	三次市福祉保健センター	5人 5人	新型コロナウイルス感染拡大防止のため10月、11月のみ開催

(3) 福祉的就労に関わる施設見学は、32件(昨年度11件)で、18人(昨年度10人)が福祉的就労につながりました。しかし、生活リズムが不規則で朝起きられない、体調が安定しない等様々な理由により、就労が継続しないケースもあり、定着に向けた丁寧な支援がこれまで同様必要です。

(4) 障害年金の相談は10件で、申請3件のうち2件が受給決定になり、他の1件は結果待ちです。本人の生育歴が充分把握できなかつたり、初診の特定に手間取つたり、家族の協力が得られなかつたりと申請に時間がかかる等、従来からあった課題に加え、年金申請に必要な診断書作成のためだけの受診が可能な医療機関が少ないという課題があります。

4 社会生活力を高める支援

(1) ソーシャルクラブは、全ての障害やひきこもりの方などを対象とし、グループ活動を通して社会参加のきっかけを作るとともに、個々の力の向上を図ることを目的に、毎月第1から第4金曜日に開催しました。障害の違いによる事業の組立ての難しさ、参加者同士の間関係やコミュニケーションの難しさはありますが、日中の居場所、社会参加の場となっています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、6月から時間を短縮して36回開催し、参加者は延べ184人でした。

ソーシャル・クラブの実施状況

回数	実施期間	会場	参加者数	主な支援内容
36回	毎月第1～4金曜日	三次市福祉保健センター2F活動交流室ほか	延べ184人	計画立案, スポーツ・レクリエーション等

(2) ハートフルサロンは、精神障害者をはじめ、ひきこもり、障害者手帳や受診につながない人を対象に、創作活動を中心に毎月第1から第4火曜日に、実施しました。ソーシャルクラブ同様6月からの開催となり、35回、延べ86人の参加となりました。

精神障害者社会復帰集団指導(ハートフルサロン)の実施状況

回数	実施期間	会場	参加者数	主な支援内容
35回	毎月第1～第4火曜日	三次市福祉保健センター2F活動交流室ほか	延べ86人	計画立案, 美術鑑賞, ヨガ, スポーツ, 花見等

(3) スポーツ文化事業は、「障害者フライングディスク競技大会」、「スペシャルオリンピックス日本・広島陸上競技会」とも、新型コロナウイルス感染症の影響で中止になりました。

(4) 「統合失調症の方の家族学習会」は、参加対象を広げることを目的に、10月から「精神障害者の家族学習会」とし、あわせて10回開催し、延べ37人の参加がありました。家族同士の交流の場としてフリートークや創作活動、ランチ会などを実施しました。家族同士だからこそ分かり合える場所、安心して話ができる場所として提供できていますが、反面、身内だけで悩みを抱えているケースも多く存在するのではないかと推測され、身近な相談手段として、SNS を活用した相談支援を保健師と連携を図りながら進めていく等、参加の輪を広げていく必要があります。

事業名	実施日	会場	参加者数	内 容
統合失調症の 家族学習会	6月9日	活動交流室	3人	フリートーク
	7月9日		5人	フリートーク
	8月20日		3人	フリートーク
	9月10日		2人	フリートーク
精神障害者の 家族学習会	10月8日	活動交流室	5人	フリートーク
	11月12日		6人	障害者雇用をしている事業主の話
	12月10日		4人	アロマワックスバーづくり
	1月14日	研修室	3人	アンガーマネジメント
	2月18日	活動交流室	2人	来年度の計画について
	3月11日		4人	ランチ会

5 障害者の関係団体の支援、情報提供・啓発等

- (1) 市内の障害福祉サービスや関係事業所を紹介した「2020 みよし障害者福祉サービスガイドブック」を 850 部発行し、利用者や関係機関に配付し、サービス利用の促進に努めました。
- (2) 12月の「障害者週間」に合わせ12月3日から9日まで、福祉保健センター1階ロビーにおいて「障害者福祉事業所の紹介と製品パネル展」をしました。7事業所から利用者の作品や製品等の提供があり、障害者の活動の広報の場となりました。
- (3) 障害者団体や家族会を紹介する冊子「障害のある方とその団体」を作成し、当事者団体や家族会の活動を広く周知し障害の理解につなげています。
- (4) 11月10日、1月26日に市内の小学校に出向き、障害者理解に向けた福祉授業をおこないました。障害体験や簡単な手話を使ってのコミュニケーション指導等を行い、障害に対する理解を図りました。

- (5) 広報活動では、「広報みよし」に毎月の行事や活動の案内を掲載しました。また、障害者に係る情報発信として、年4回「障害者支援センターだより」の発行や、YouTubeチャンネルの開設、サービスガイドブックの発行、郵送によるサービス案内、行事案内等を行い、周知を図りました。
- (6) 発達障害専門家会議inびほく(発達障害の課題に取り組む各分野の専門家による会議inびほく)に事務局の構成員として参画し、近隣2市の市民も対象とした発達障害基礎講座の開催や定期的な事務局会議の開催により、発達障害の啓発や関係機関同士の連携の仕組みづくりを進めました。

情報発信・地域啓発活動, コミュニケーション支援の実施及び参加状況

実施日	事業名・概要	対象者	内容等
9月27日	発達障害基礎講座 「発達障害児・者支援の中の医療の役割」	当事者・保護者・支援者	基調講演 元桜クリニック院長 杉山新作 氏 参加者 97人
10月30日	2020みよし障害者福祉サービスガイドブック発行	利用者, 市民, 障害者 関係施設・機関	福祉サービス一覧, 事業所紹介&位置図を最新の情報に更新し850部作製 A4判, 75ページ
11月1日	障害のある方とその団体 (リーフレット)発行	障害者(児)・支援者・ 家族等	障害者団体・家族会の情報を掲載
11月12日	三次市すくすくネットワーク 協議会代表者会議	市民・関係事業所・ ネットワーク組織団体	「児童虐待の現状と課題について」 広島県北部こども家庭センター 相談援助第一課 橋本課長
12月3日 ~9日	障害者週間パネル展示	市民 (福祉保健センター1F ロビー)	市内就労支援施設の製品など展示
年4回	センターだより発行	利用者, 市民, 障害者 関係施設・機関	5月号(No.61), 8月号(No.62), 11月号 (No.63), 2月号(No.64)臨時増刊号(6月・2 月)の発行
不定期	YouTubeチャンネルの配信 (マヌケルチャンネル)	障害者(児)・支援者・ 家族等	市内障害者施設の紹介など

6 障害支援区分認定調査

- (1) 障害者等の障害の多様な特性や心身の状態に応じて、必要とされる標準的な支援の度合いを総合的に示すために必要な障害支援区分認定調査を訪問により実施しました。

障害支援区分認定調査の実施状況

身体障害	知的障害	精神障害	重複障害	自立支援医療	難病	合計	昨年度
29人	57人	34人	19人	1人	1人	141人	184人

※ 新型コロナウイルス感染拡大のため調査困難 17人